

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2014年12月4日～12月10日)

平成 26 年(2014 年)12 月 12 日

H E A D L I N E S

政治

シコルスキ下院議長の公費使用を問題視する週刊誌報道が内政に波紋
 コモロフスキ大統領, グルジア大統領と会談
 スヘティナ外相, フィリピン外相と会談
 コパチ首相, トルコ首相と会談
 コパチ首相, V4及びスイス首脳会合に出席
 コパチ首相, オバマ米大統領と電話会談
 米国上院のCIAの尋問に関する報告書に対するポーランド要人の反応
 アフガニスタン派遣部隊の終了
 ニコルソン・加国防相のポーランド訪問

経済

欧州委がデジタル・ポーランド計画を承認
 平均賃金は未だにEU内で低水準
 高級品市場が拡大
 11月の新車販売動向
 11月の自動車生産動向
 コンパニア・ヴェングロヴァ社がCEO代行を氏名
 トウルフ発電所建設に10億ズロチを融資
 PGNiG社とカタールガスとの天然ガス供給に関する新たな合意

大使館からのお知らせ

教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)
 大使館広報文化センターの開館時間について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000
http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治 内 政

シコルスキ下院議長の公費使用を問題視する週刊誌報道が内政に波紋【8日】

8日付の当地週刊誌「Wprost」は、シコルスキ下院議長が外相を務めていた際に、外相のための公用車及び警護があるにも関わらず、下院議員として私用車で公務を行い、下院から約8万ズロチの公費を得ていた旨報道した。これを受け、最大野党「法と正義」(PiS)のプワシュチャク院内総務は、シコルスキ

下院議長は議長を辞し、与党・市民プラットフォーム(PO)からも除籍されるべきである旨述べ、同下院議長の責任を追及する姿勢を示した。これに対し、シコルスキ下院議長側は、閣僚としての仕事と下院議員の仕事に分けるのは通常であり、適切な形で公費が支給された旨説明している。

外交・安全保障

コモロフスキ大統領、グルジア大統領と会談【4日】

4日、コモロフスキ大統領は、ポーランド訪問中のマルグヴェラシヴィリ・グルジア大統領と会談し、二国間関係、グルジアの連合協定の枠組みにおけるEUへの接近プロセス、ロシアのウクライナへの攻勢の文脈における安全保障問題及びモスクワの同地域への攻撃的な政策につき意見交換した。

ことを示している、欧州が団結することが決定的に重要である旨述べた。V4首相は、今次会合の機会に、防衛協力を強化する宣言への署名を行った。

スヘティナ外相、フィリピン外相と会談【5日】

5日、スヘティナ外相は、ポーランドを訪問中のデル・ロサリオ・フィリピン外相と会談を行い、二国間政治・経済関係、防衛産業及び教育分野における協力、地域安全情勢、EU・ASEAN協力等につき意見交換した。スヘティナ外相は、ポーランドは東南アジア経済の可能性が発展している状況を注視しており、アジアのパートナーに対し積極的な政策を実施している旨述べた。

コパチ首相、オバマ米大統領と電話会談【9日】

9日、コパチ首相は、オバマ米大統領と電話会談を行った。オバマ大統領は、本年9月のNATOウェールズ首脳会合で合意した義務を確認すると共に、米軍がポーランド領土内に必要性に応じて長期間駐留することを保証した。両首脳は、ウクライナ情勢、アフガニスタン及びイスラム国の問題等についても意見交換した。また、オバマ大統領から同9日にCIAの尋問に関する報告書が公表されることに言及があり、両首脳は、同報告書の公表がポーランド・米関係に否定的な影響を与えないことへの期待を表明した。

コパチ首相、トルコ首相と会談【8日】

8日、コパチ首相は、ダーヴトオール・トルコ首相と会談し、二国間関係、地域安全保障(ロシア・ウクライナ紛争及び中東情勢)及び経済協力(投資関係、第三国市場における共同事業)につき意見交換した。また両首相は、ワルシャワ市内の大劇場で行われたポーランド・トルコ外交関係設立600周年終了式典に共に出席した。ダーヴトオール・トルコ首相は、同式典にて、トルコ政府がポーランド国民に対する入国査証取得義務を撤廃する決定を下した旨発表した。9日、ダーヴトオール・トルコ首相は、コモロフスキ大統領表敬を行った。

米国上院のCIAの尋問に関する報告書に対するポーランド要人の反応【9日】

9日に米国上院情報委員会が発表したCIAの尋問に関する報告書の要旨に関し、これまで指摘されてきたポーランド国内におけるCIA収容所存在問題と関連してポーランド国内で注目を集めた。コモロフスキ大統領は、報告書はポーランド検察によるポーランド国内のCIA収容所の問題に関する捜査にとって重要な指針になるかもしれない旨述べた。コパチ首相は、報告書の有用性を見る必要がある、同報告書の評価は検察当局によってなされる、ポーランド・米関係に変化が生じないことを期待する旨述べた。CIAの収容所が存在したとされる時期に現職であったクファシニエフスキ元大統領は、9・11事件後にテロとの戦いの文脈におけるポーランド・米間での諜報協力はあり、ポーランドは米国側から米国に協力の用意がある者からの効果的な情報収集を行うための場所の提供を求められ右に同意したが、拷問に対する同意はなかった旨述べた。

コパチ首相、V4及びスイス首脳会合に出席【9日】

9日、コパチ首相はV4(ポーランド、チェコ、スロバキア、ハンガリー)首相及びブルカルテール・スイス大統領との会合に出席し、ウクライナ危機、エネルギー安全保障及び経済関係を中心に意見交換した。コパチ首相は、ウクライナ情勢に関し、ミンスク合意が維持されていない現状は今後様々なシナリオがある

アフガニスタン派遣部隊の終了【5日】

アフガニスタンのバグラムにあるポーランド軍基地において、ISAFへのポーランド軍アフガニスタン部隊派遣終了の式典が執り行われた。

12月31日にISAFの部隊は、カブールにある当国大使館の閉鎖業務をもって完了し、その後は、120名ほどのポーランド兵士を派遣し、別スキーム内で主にアドバイス業務を行う。

2002年から、計2万8千人以上のポーランド兵士がISAFのミッションに参加し、60億ズロチ(約30億円)の支出があった。ピーク時には、2千6百人の兵士及び軍雇用者とともに200台の車両及び無人機を出したほか、ヘリコプター及び輸送用機も出動させた。ポーランドは、1万1千人のアフガニスタン兵士、警察及び一般人を訓練したほか、1千人のアフガニスタン兵がポーランドで訓練を受けた。その他、約200もの支援プロジェクトを現地住人と実施し、ミッションの期間中、ポーランドはガズニー州の責任を負い、2008年から2014年では、130トンの人道支援物資がガズニー州に届けられた。

マレック・ピエツラク作戦司令官によると、ポーランド軍の撤退準備は以前より継続されており、既に99%の機材が既に撤収されている。ポーランドは、ミッション期間中に兵士及び軍関係者43人の死亡者及び361人の負傷者を出したほか、8台の軍車両、ヘリコプター3台、無人機3台の損失があった。

ニコルソン・加国防相のポーランド訪問【9日】

ロバート・ニコルソン加国防相がポーランド訪問し、スヘティナ外相と会談した。ウクライナの情勢を受けたヨーロッパの安全保障、イスラム国に対する国際的な協力、NATOバルト海での警戒及びアフガニスタンへの支援について話し合いを行い、スヘティナ外相は、昨今のEUの東及び南側の情勢において両国の安全保障政策での協力は重要であると述べた上で、両国は防衛課題に対して共通の価値観及び意志を持っていると強調した。

ニコルソン加国防相は、ポーランドのNATOへの貢献に謝意を表し、ポーランドの安全保障に対して、より一層の支援を行う旨約束した。同訪問中に、シェモニヤク国防相とポーランド兵及びカナダ兵の合同演習への視察を行った。シェモニヤク国防相は、NATOウェールズ首脳会合をうけて、ポーランド北東部にある多国籍兵団の参加国は現在の13カ国から20カ国になるだろうと述べた。カナダの多国籍兵団への参加について、ニコルソン加国防相は、国内で検討中であるが、最終的な結論には至っていない旨述べ、カナダとポーランドの合同演習は、団結して行動しているNATOの姿をロシアに対して示すことができると述べた。

経 済

経済・財政政策

欧州委がデジタル・ポーランド計画を承認【8日】

EU2014年－2020年多年度予算において、域内最大額のEU基金を割り当てられたポーランドが計画していた「デジタル・ポーランド」を、欧州委が同国の今期最初のEU基金の運用プログラムとして承認した。総額21億7千万ユーロの規模で、EU地域

開発基金の一部として割り当てられ、主にインターネットの高速回線の整備に使用される。2020年までに国内中で高速インターネットの使用が可能となり、地域格差が解消されるとともに、公共サービスのオンライン化が進む見込み。

マクロ経済動向・統計

平均賃金は未だにEU内で低水準【8日】

2013年の平均賃金は3,900ズロチで前年の3,650ズロチより3.5%上昇したものの、英国やドイツの平均である約14,000ズロチと比較すると未だにはるかに低い金額となっている。公共部門が4,239.36ズロチと民間部門の3,466.90より高額で、地域別ではマゾヴィエツキェ県が最高で約5,400ズロチ、最低はヴァルミンスコ・マズーリ県の約3,150ズロチとなっている。また、IT部門は約6,000ズロチと高額。なお、2014年の法定最低賃金は1,680ズロチで、EU加盟国内第12位となっている。

高級品市場が拡大【10日】

2014年に126億ズロチ規模の高級品市場は、2017年には140億ズロチまで拡大すると予想されている。特に宝石・時計類に関しては25%増、3億6,800万ズロチから4億6,600万ズロチまで成長する見込み。現在7,100ズロチ以上の高所得者数は878,000人であるが、2017年には115万人に達すると見られており、現在でも高級車に対する需要は56億ズロチまで拡大している。

ポーランド産業動向

11月の新車販売動向【4日】

自動車専門調査会社 Samar によれば、2014年11月の乗用車と商用車の新車登録台数は、前年同月比0.65%増の28,239台となった。今年1月から11月までの累計では、前月比で14.6%減、前年同月比で12.4%増の338,450台であった。同社によれば、この伸びは新車の再輸出により支えられているとしているものの、その数は昨年と比べ減少している。また、高級車の販売は、大衆車に比べ好調で、今年11ヶ月の累計で前年同期比24.

3%増となった。

11月の自動車生産動向【8日】

自動車専門調査会社 Samar によれば、11月のポーランドにおける自動車生産は、前年同月比1.8%減、前月比では7.1%増の46,934台であった。今年1月から11月までの乗用車・商用車の生産累計は537,828台となり、前年同期比0.8%減となった。

エネルギー・環境**コンパニア・ヴェングロヴァ社がCEO代行を氏名【8日】**

コンパニア・ヴェングロヴァ(KW)社の監査役会は、12月12日のCEO選出期限を待たず、CEO代行として一週間ほど前に同社に参画した Krzysztof Sedzikowski 氏を指名した。KW社の経営状況は手続の終了を待っている状況ではないことから、KGHMやポリシェフ等での経験を有し、CEOの最有力候補とされる同氏をCEO代行として前もって指名したと考えられている。

なお、鉱山産業に対する政府の救済計画は12月末までにまとめられることとなっている。

また、同大臣は、ポーランドのエネルギー部門における投資は2020年までに1,140億ズロチに上り、そのうち約300億ズロチは設備の拡張のため、約400億ズロチはエネルギーの配送にかかるインフラ整備に用いられることも紹介した。

PGNiG社とカタールガスとの天然ガス供給に関する新たな合意【9日】

PGNiG社は、スフィンウイスチェLNG基地向けの天然ガス供給に関し、カタールガスとの間で2015年以内に天然ガスが供給されない限りポーランド側に支払いは発生しない旨契約の変更を行った。これにより、ポーランド側への天然ガスの供給はLNG基地が完成してから行われる。また、長期ガス供給契約において定められる価格とカタールガスが他へ販売する際の価格に差が生じる場合にはPGNiG社側が負担することも合意している。

トゥルフ発電所建設に10億ズロチを融資【8日】

カルピンスキ国有財産大臣は、PGEと国家経済銀行がトゥルフ発電所の建設のため、10億ズロチに上る共同融資契約を締結する見込みであると発表した。

大使館からのお知らせ**教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)**

現在、当館ホームページ上(<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/kyoukasho26.pdf>)にて、平成26年度前期分の教科書配布をご案内しております。対象年齢のお子様がいらっしゃる場合には無料で教科書を配布しております。受け取りを希望される場合には、その受取方法等をご確認いただければ幸いです。

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成27年3月31日(火)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事

【開催中】私の目で見えたポーランドの都市【10月～12月】

ヴロツワフ市にて、ナイーブ・民族アートギャラリー主催による絵画展『私の目で見えたポーランドの都市』が開催中です。阿山真也氏による作品が展示されています。

開催場所：ヴロツワフ市，ul. Kielbasnicza 31

【開催中】「竹と漆」池田巖展【10月27日（月）～1月4日（日）】

クラクフにて、日本美術技術博物館 Manggha 主催による『竹と漆』池田巖展が開催中です。池田巖氏による竹と漆の素材の魅力をひきだした作品が展示されています。

開催場所：クラクフ，日本美術技術博物館 Manggha マンガ，ul. M. Konopnickiej 26

詳細：<http://manggha.pl/exhibition/25>

【開催中】荒木経惟 & パヴェウ・ヤシュチュックの写真展示会【11月7日（金）～12月14日（火）】

ワルシャワにて、ライカギャラリー主催による『荒木経惟 & パヴェウ・ヤシュチュック写真展示会』が開催中です。

開催場所：ワルシャワ，ライカギャラリー，ul. Mysia 3

詳細：<http://leica-camera.pl/aktualnosci/wydarzenia/araki-i-jaszczuk/>

【開催中】ポーランドの日本美術傑作展【11月30日（日）～5月18日（月）】

クラクフにて、日本美術技術博物館 Manggha 主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催されます。葛飾北斎の東海道五十三次浮世絵をはじめとする浮世絵，彫刻，絵画に加え，根付や屏風，着物，楽器，武具，刀剣など，多岐に亘るジャンルの日本美術品が展示されます。

開催場所：クラクフ，日本美術技術博物館 Manggha，ul. M. Konopnickiej 26

詳細：<http://manggha.pl/exhibition/26>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp (ご連絡は電子メールでお願いします。)